

令和元年度第2回 西脇市地域公共交通会議 議事録

【日 時】 令和2年2月17日（月）14:30～15:30

【場 所】 西脇市民会館 中ホール

【出席者】 委員：21名

オブザーバー：3名

事務局：3名

傍聴者：4名

【次 第】

開 会

1. あいさつ

2. 議事

(1) 西脇市における公共交通網の再編について

(2) 西脇市コミュニティバスの運賃改定について

(3) 路線バス「中黒田線」の新設について

3. 報告事項

(1) コミュニティバスの利用状況について

(2) 多可町による多可高校生への通学定期券購入補助について

4. その他

(1) 意見交換

(2) 次回日程等

閉 会

【会議の概要】

○ 出席者数の確認

- ・委員 21名出席、西脇市地域公共交通会議規約第2条7項による定足数を満たしているためこの会議は成立

1. あいさつ

ご多忙の中お集まり頂き、お礼を申し上げます。前回の会議で、今後の公共交通網再編に係る概要等について説明させていただいたが、本日の会議では、その後のデマンド型交通の検討状況などについて、もう少し詳しく説明させていただく。本市の公共交通網の発展につながるよう、委員の皆様には是非忌憚のないご意見をいただきたい。

2. 議事

(1) 西脇市における公共交通網の再編について

(事務局から資料説明)

【委員】

- ・デマンド型交通の車両は何人乗りか？

【事務局】

- ・運転手込みで5人乗りである。

【委員】

- ・運行の形態は4条の乗合いということでいいか？

【事務局】

- ・そのとおりである。

【委員】

- ・市内タクシー事業者による運行とあるが、道路運送法の手続はされているのか？4条許可の標準処理期間は2箇月である。

【事務局】

- ・まだである。今後進めていく。

【委員】

- ・おりひめバスの便数が減るのが気がかりである。運賃が安くなるのはありがたい。バスの定員が32人となっているが、普段乗っているのは多くて5～6人なので、小さい車両にして便数を増やしたりはできないのか？
- ・デマンド型交通との併用について、バス停からの距離による利用制限があるが、利用ができるようにしてほしい。

【事務局】

- ・バスの運行で一番の費用がかかるのが運転手の人件費である。おりひめバスの現在の車両はまだ使えるので、投資をして小型化するよりは、現行の車両でまずはいきたい。運行密度については、デマンド型交通や公共交通全体の事業費とのバランスを考えると、減便せざるをえない。
- ・デマンド型交通は、事前登録制とし、登録の際にバス停から半径300m以内かどうかチェックする。予約時にバスが利用できる人には、バスなら100円で行けると案内する。ただし、実際にバスで目的地に行けないという場合は、デマンド型交通を利用していただく。

【委員】

- ・おりひめバスで目的地に行けない場合は、デマンド型交通が利用できるということか？

【事務局】

- ・乗り換えなしで行けない場合は、最初からデマンド型交通が利用できる。

【会長】

- ・減便の時間帯は使えるということでもいいか。

【事務局】

- ・減便の時間帯は、時間の空白という概念があるので、バス沿線であっても利用できる。

【委員】

- ・デマンド型交通について、これまでいろいろ要望してきたが、意見を受け入れていただいて、きめ細かな対応で大変ありがたい。迎え時間・到着時間などいろんな需要があると思うが、実際にどのように運行していくのかのイメージを教えてください。

【事務局】

- ・これまで例えば7時便とか8時便とか説明してきたが、いろいろ研究してみた結果、便という概念ではなく、予約したときに車が空いていれば対応するという形でいきたい。例えば、黒田庄から西脇市駅までの予約があったとき、すぐ行ける車両があれば、希望時間で対応し、なければ、何時の便なら予約できると案内する。口頭での説明は難しいので、また何等かの機会でもわかりやすく説明したい。基本的には、車両が空いていれば、その車両に乗れて、乗合率を高めるため、同じ方向に行く人がいれば、できるだけその車両に乗ってもらうような仕組みを考えている。

【委員】

- ・予約時間が最短1時間前までとあるが、1時間前には運行内容が決まるということか？

【事務局】

- ・1時間前というのは予約の締切時間である。他市の例では、実際は数日前など早めに予約をされる方がほとんどである。車は5台しかない。例えばそのうちの1台が黒田庄からこの時間に西脇病院に行くというルートが決まっていたとして、同じ時間、同じ方向に行きたい人がいれば拾う。時間が合わなければ、次の便を案内する。ポイントは車が空いていれば乗れて、空いていなければ乗れない。それが予約の早い者順で決まっていく。

【委員】

- ・車両が5台とあるが、これで1日どれぐらいの人が利用できるのか？

【事務局】

- ・事業が軌道に乗ったときの想定で1日100人程度を考えている。1台当たりになると20人。年間にすると29,000人ぐらいの利用になる。

【委員】

- ・行って帰っては1人のカウントか？

【事務局】

- ・それは2人のカウントとなる。

【オブザーバー】

- ・きめ細かい対応で素晴らしいと思う。ただ、バス運賃が対距離から100円へと値下げ。デマンド型交通についても、土曜日も運行し、運行時間も他市より長い中、運賃は65歳以上200円と、サービス水準からいうと少し安い気がする。バス・デマンド型交通それぞれの収支はどのように見込んでいるのか？補助金や運賃などどれぐらいの収入があり、どれぐらいの一般財源を使って、このサービスを維持していくのかを、皆さんに知っておいてもらうのは有益であると考えます。

【事務局】

- ・現行コミュニティバスの予算が年間3,450万円。これはあまり変わらないという想定をしている。これに対して、8割が特別交付税措置されると一般的には言われている。収

入についての見込みはまだ持っていないが、今、バスの一人当たりの平均運賃が 180 円ぐらいなので、100 円にしても利用が倍になれば、収支としては現行と変わらず、利用が 3 倍になれば収支率は改善していく。

- ・ デマンド型交通については、事業費が確定していないため、現段階では回答は差し控えてさせていただく。

【オブザーバー】

- ・ 今、説明いただいたように運賃が安くなるので、利用が増えないと現行の収支のようにはならない。皆さんにも利用促進をしていただいて、大事にこのバスを育てていただきたい。

【会長】

- ・ 本日の説明内容は、現在の検討状況であり、今後も、関係機関等と調整して進めさせていただく。

(2) 西脇市コミュニティバスの運賃改定について

(事務局から資料説明)

- ・ 意見・質問なし
⇒承認

(3) 路線バス「中黒田線」の新設について

(神姫グリーンバスから資料説明)

【委員】

- ・ 多可高校への黒田庄からのバスについては、以前に高校からの依頼で運行していた。運賃は 600 円だった。ただ、利用が減り、高校、PTA との話合いの中で、休止したという経緯がある。乗車率をどの程度で検討されているのかをお尋ねしたい。

【神姫グリーンバス】

- ・ 1 日 60 人以上の利用を想定している。

【会長】

- ・ 運行について承認いただいてよいか？
⇒承認

3. 報告事項

(1) コミュニティバスの利用状況について

(事務局から資料説明)

- ・ 意見・質問なし

(2) 多可町による多可高校生への通学定期券購入補助について

(多可町から資料説明)

【委員】

- ・中黒田線は対象外なのか？

【多可町】

- ・資料が1月に多可高校に配布させていただいたもので、中黒田線は入っていないが、本日の西脇市の交通会議、また、多可町の交通会議を経て、最終的には対象とする方向で調整を進めたいと考えている。

4. その他

(1) 意見交換

【委員】

- ・チラシを配布させていただいているが、バス運転手が不足している。これにより、市町からのバス増便要望などに対応できない状況となっている。また何かの機会に周知をお願いしたい。